

Windows 10へのアップグレード

～アップグレードの課題～

Windows 10のトップ画面

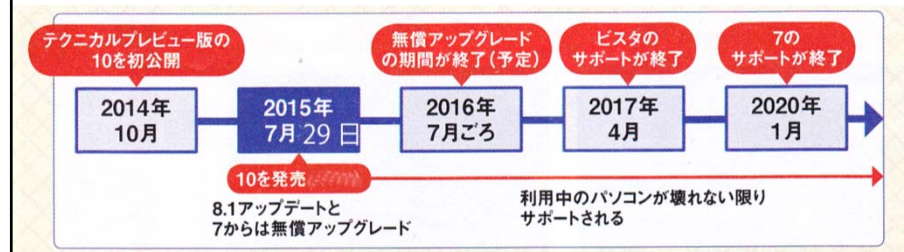


エディション別アップグレード

Windows 7からのアップグレード*		Windows 8からのアップグレード**	
アップグレード前	アップグレード後	アップグレード前	アップグレード後
Windows 7 Starter	Windows 10 Home	Windows 8.1***	Windows 10 Home
Windows 7 Home Basic		Windows 8.1 Pro	Windows 10 Pro
Windows 7 Home Premium		Windows 8.1 Pro Student	
Windows 7 Professional	Windows 10 Pro	Windows 8.1 Pro WMC	Windows 10 Mobile
Windows 7 Ultimate		Windows Phone 8.1****	

Enterpriseはアップグレード対象外

Windowsのサポート期間



H/Wの仕様（Microsoft提示）

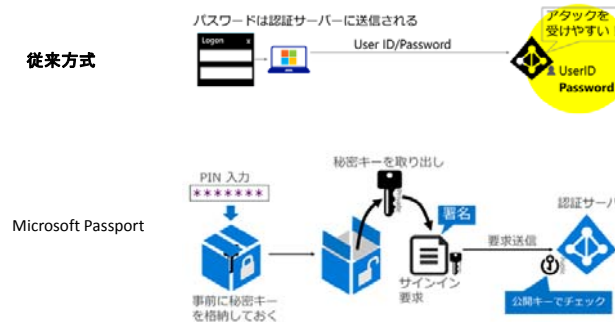
- プロセッサ: 1 ギガヘルツ (GHz) 以上のプロセッサ
- メモリ: 32 ビット版では 1 GB、64 ビット版では 2 GB
- ハード ディスクの空き領域: 32 ビット版 OS では 16 GB、64 ビット版 OS では 20 GB
- グラフィックス カード: DirectX 9 以上 (WDDM 1.0 ドライバー)
- ディスプレイ (画面解像度): 1,024 x 600
- 重要な注意事項
- デバイスがアップグレード可能かどうかは、システム仕様以外の要因も影響します。Windows 10 の最小システム要件を満たしているデバイスでも、ドライバーやファームウェアのサポート状況、アプリケーションの互換性、機能のサポート状況などによっては、アップグレードできない場合があります。

パソコンメーカーのアップグレード対応は？

- 東芝 現在は2014年5月以降に発表した機種を対象に案内中で、2013年7月以降に発表した機種をサポート対象とする予定で確認作業を進めている。
- NEC 2013年5月以降発表のLaVie、LaVie Tab W、VALUESTARをWindows 10のアップグレード対象とすると発表した(タブレット製品に一部例外あり)。
- 富士通 2012年秋モデル以降。詳細は7月末に発表する情報を見ること。
- パナソニック 「レッツノート」シリーズは2015年夏モデルから全機種でWindows 10に対応する。

各ソフトはどこまで対応するのか？

- マイクロソフトOffice
Windows7対応: Office xp~
Windows8対応: Office 2007~ (ノンサポートだが2003も動作する)
- Adobe Photoshop, Illustrator
Windows7対応: CS4, CS5, CS6, CC
Windows8対応: CS5, CS6, CC
- Adobe Acrobat
Windows7対応: 9.2, X, XI
Windows8対応: X, XI
- 兼まとめ
Windows7対応: Ver.21~
Windows8対応: Ver.23~
- 一太郎(ATOK)
Windows7対応: 2007~
Windows8対応: 2011~
- 弥生会計シリーズ
Windows7対応: 11シリーズ~
Windows8対応: 13シリーズ~

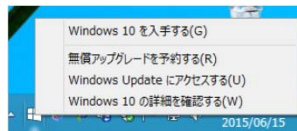


アップグレード可能通知と処置

- 通知領域にウインドウアイコンが表示される



- ウインドウアイコンをクリックし作業を選ぶ



アップグレードするための準備

- 1. Windows7、Windows8.1をアップデートして最新にして置くことが条件。
- 2. 戻しに備えて、現状の**バックアップ**をとる。
最上の方法は外付けHDDやDVDに保存すること。

「Windows 10を入手する」ボタンが表示されているからといって、**必ずしもそのモデルがアップグレード可能だと保証されているわけではない。**(ASCIIデジタル)

リカバリー・初期化について

パソコンのリカバリー・初期化は大きく分けて、3種類の方法があります。

- パソコンに添付されているリカバリーCDから行う(初期化)
- パソコンのHDDに内蔵されているリカバリー領域から行う(D to Dリカバリー)(初期化、最新状態へのリカバリー)
- 自作パソコンでは、WindowsインストールCDを使用する(初期化)
- リカバリーソフトでバックアップしたものを使用する(最新状態へのリカバリー)

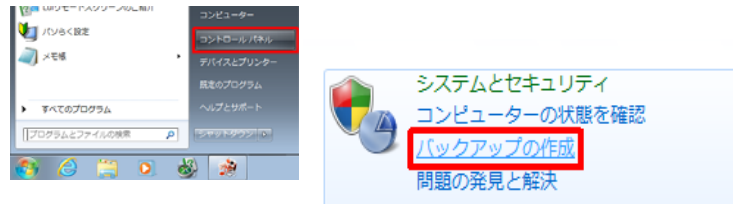
リカバリーディスクからの復元するメリット

- 初期化作業に比べて復元処理が早い
- ドライバやソフトの再インストールが不要
- データや設定はバックアップ時点のものが残っている
- Windowsやソフトウェアのライセンス認証などがない
- HDD交換の際にもバックアップから復元できる

処置をする前にバックアップをとる方法

～Windows7の場合～

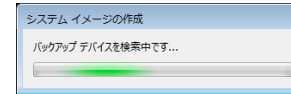
「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックします。



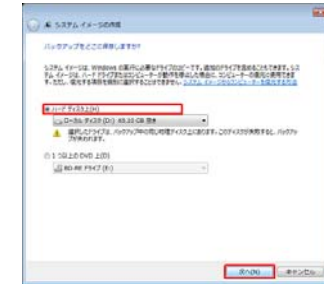
「コントロールパネル」が表示されます。
「バックアップの作成」をクリックします。

リカバリーディスク作成手順 (Win7) 1

- 「バックアップデバイスを検索中です...」というメッセージが表示されるので、しばらく待ちます。

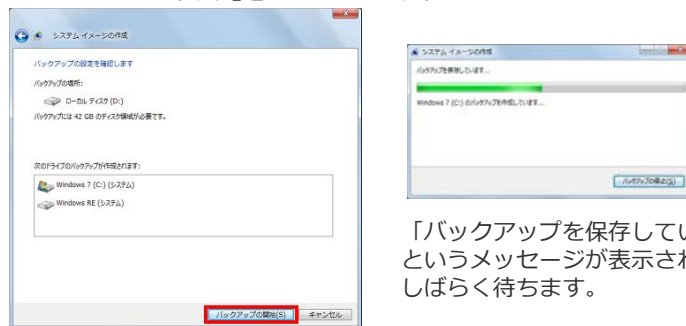


作成したイメージの保存先をクリックして、「次へ」をクリックします。
ここでは例として、「ハードディスク上」をクリックします。



リカバリーディスク作成手順 (Win7) 2

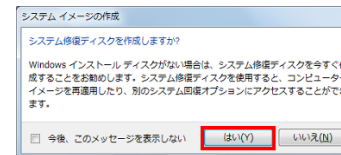
- 「バックアップの開始」をクリックします。



「バックアップを保存しています...」
というメッセージが表示されるので、
しばらく待ちます。

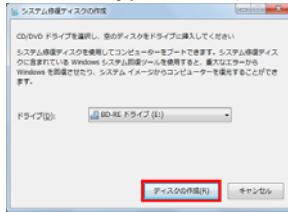
リカバリーディスク作成手順 (Win7) 3

- システム修復ディスクを作成しますか？...というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします



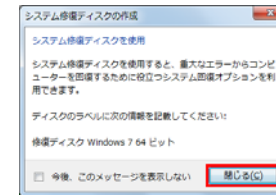
リカバリーディスク作成手順 (Win7) 4

- 「システム修復ディスクの作成」が表示されます。空のディスクをパソコンに挿入し「ディスクの作成」をクリックします。



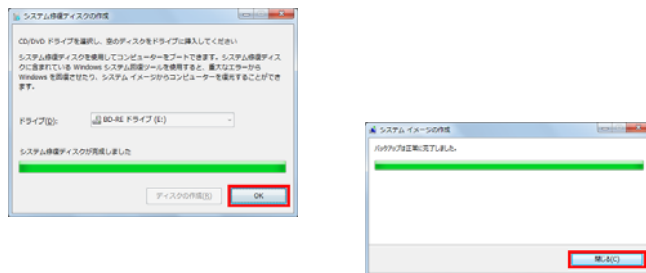
リカバリーディスク作成手順 (Win7) 5

- 「システム修復ディスクを使用...」というメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックします。



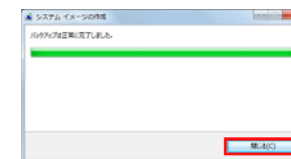
リカバリーディスク作成手順 (Win7) 6

- 「システム修復ディスクが完成しました」と表示されたら、「OK」をクリックします。



リカバリーディスク作成手順 (Win7) 7

- 「閉じる」をクリックします。



リカバリーディスク作成手順(Win7) 8

- 「閉じる」をクリックし、「バックアップと復元」画面を閉じます。



リカバリー前に確かめる事項1

- **1.データのバックアップは取れているか？**
マイドキュメント、デスクトップ、メール送受信データ、お気に入りなど大事なデータが残っていないかどうか確認します。データが残っている場合は、バックアップを取ります。
- **2.ハードウェアの異常を抱えていないか？**
パソコンを初期化する理由に、パソコンの速度が遅くなった、調子が悪いなどをよく聞きます。調子の悪い原因がWindowsにあるなら、パソコンの初期化で直りますが、ハードウェアの問題が原因である場合、パソコンの初期化をしても改善されない、あるいは初期化の途中でフリーズするなどのトラブルも起きます。古いパソコンの場合は特にハードウェアの検査をしておいたほうがいいでしょう。

リカバリー前に確かめる事項2

- **3.準備はできているか？**
添付のリカバリーディスクやアプリケーションディスク、オフィスのCDが揃っているかどうかを確認します。また初期化の方法・手順は取扱説明書に記載されているので、方法や手順を前もって把握しておきます。ディスクがない、説明書がないなどの場合は、準備します。

HDDリカバリー領域からの方法(D to Dリカバリー)

- 電源投入後に特定のキーを押す(メーカーによりキーは異なります)
- 手順に従いリカバリー作業
- インターネット接続設定
- 各種アップデート(Windows Update、AdobeのUpdate)
- オフィスのインストール
- ウイルス対策ソフトのインストール

<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-10-upgrade>



チェックして、ハードウェア的に問題がないと「PCは準備完了」に変わります。

